



陽気は幸せの種

No110

2016.5.15

●ホームページからも「陽気だより」
最新号・バックナンバーをご覧いただけます

<http://yotokusha.com/>

図書出版 養徳社 〒632-0016 天理市川原城町 388 TEL 0743 (62) 4503 / FAX 0743 (63) 8077

養徳社

検索

昭和41年6月号から

「陽気」は、昭和24年4月の創刊、今年で67年を迎えます。過去の記事から、その歩みの一端を振り返っていきます。

「私のみた天理教」

真柱と中国巡教

天理図書館・参考館の基礎を作られた
若き日の真柱の思い出

星川清孝

(昭和四十一年当時
茨城大学教授・文学博士)

教員生活第一歩をおちばで

おちばは八十年祭を迎えて、また一段と立派になったとのことである。参拝するたびに目を見張るほどの建設事業が、絶え間なく続けられているのを見て、私にはそれが天理教発展の象徴のように思われる。そびえたつおやさとかたから、神域の一木一草にいたるまで、信者にとってはひのきしんの思い出の種であろう。信仰を行動で確かめているのであるうか、人々は陽気に勇んで働いているように見える。

私も昔、天理中学校の教師として、生徒と一緒に土持ちをしたことがあるが、それがどの広場の一隅であるか今では見当もつかぬ大きな変貌を呈している。三十数年前のことであるから、まったく隔世の感に堪えない。石の上布留の宮に近く、石上宅嗣の芸亭院という日本最初の図書館の跡といわれる場所に、天理外国語学校附属図書館として、天理図書館が設立されて日も浅い昭和四年四月、私は大学を出て教員生活の第一歩を、このなつかしい土地で始めたのであった。私のその後五年あまりの生活は、考えてみると、常に何らかの意味で天理図書館につながっていた。天理図書館にはずいぶん厄介になったし、天理外語に奉職の間は、学校の図書館を兼ねていたのであるから、当然のことでもあろう。その思い出の図書館は、今

では日本の最もすぐれた図書館に数えられるようになった。全国の各方面の学者のメッカともいわれるほどの貴重な書籍の集積があるだけでなく、最も近代的で優秀な設備を備えて、将来の発展を約束されているのである。設備・蔵書を誇るだけでなく、富永館長自身、図書館学の権威であって、これを生かして運営しておられる。人を得たということとで、これ以上のものはないであろう。

中国巡教に伴って

現在、わが国の文化に多大な貢献をしている天理図書館も、決して一朝一夕にでき上がったものではない。中山(二代)真柱の並々ならぬ熱意によって今日の立派な文化施設になったことはいうまでもない。私はその建設初期に、真柱がひたむきにこの事業と取り組んでおられた姿をなつかしく思い出したのである。それは私の赴任した翌年、昭和五年三月、真柱が中国巡教の旅に出られた時のことである。はからずも、私はその随行の一人に加えられたので

あった。ご旅行は上海をはじめとして南京、蘇州、杭州から、山東省の青島、済南、曲阜を経て、天津、北京を訪れ、奉天、大連、旅順をまわる、約四十余日の旅行であった。その前年、東大を卒業された真柱は、その卒業論文に、「天理教伝道者に関する調査」を選ばれただけに、カトリックの東洋伝道の足跡を現地に見ようという熱意を抱いておられた。その若い胸のうちに、天理教の将来、特に海外伝道に、大きな夢を描いてお

月刊『陽気』
定期購読受付中

お 店まで買いに行くのが大変。忙しくて購入するのを忘れた。定期購読はそんな手間を省きます。
毎月20日前後にご自宅宛に発送いたします。
(例：6月号は5月20日)

特集
いんねんの自覚
連載
◎万田酵素誕生物語 (1)
◎【東日本大震災】
5年後の今もつづく支援 (1)

購読に関する問合せ先 養徳社 業務部窓口
☎ 0120-920-398

定期購読料金 1年分…3,420円(送料込)
半年分…1,710円(送料込)

られた。外国語学校の卒業生の現地での活動、風土、文化、大学や教会、外人宣教師の生活などの視察に努め、その間にもミッション関係の図書を集めることに大変熱心であった。そのほか上海のカトリックの総本山であった土山湾の天主教会やその図書楼、印刷所、授産所、教育施設などに特に興味を持っておられた。

私も中国関係の図書を購入することを命ぜられていた。

何しろ、その前年に大学を出たばかりで、ろくに中国の書物知らぬ私が、書物の山の中に迷い込んだのであるから、何を買ってよいものかわからぬありさまであったが、真柱のご指示で、当時わが国でも数部といわれた「道蔵」という道教の双書や、中国書の基本である「四部叢刊」、その他かなりの書物を図書館のために買ったことを覚えている。

思えば、その時に集められた書物も現在の大図書館の蔵書の土台になったわけである。

図書館の基礎じくりに情熱

図書館の書物の購入のほか、天理参考館の基礎づくりも、そのご旅行中に、真柱のお考

えで始められたのであった。中国旅行で目についたことは、広智院の施設であった。それは博物館のことであるが、考古資料だけでなく、そこには地方生活の参考資料を展示してある。真柱がそれによって思いつかれたのかどうかはわからないが、その旅行中、各地の土俗や生活に関する資料たとえば一輪車や竹のてんびん棒、その他日常生活の道具類などを中心に、多くの参考資料を収集された。それは外国語学校の語学や海外知識の修得の参考のために集められたものであることは間違いない。参考館の名の示す通りである。

書物も参考品も、真柱のこのような熱意と遠大で現実的なお考えから収集されたものが、現在みごとに集積を誇る大図書館や参考館となったのである。これらのことは私の学問をする者という狭い立場から見た真柱の一面である。あれから三十余年、天理教はこの不世出ともいふべき真柱を中心として偉大な発展を遂げた。私は、このような人を高等学校の級友に持つことを常に誇りとしているのである。

養徳社営業予定

赤字は休業日

6月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

おつとめ
(1日～30日) 朝5:00
夕7:30

7月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

おつとめ
(1日～15日) 朝5:00
夕7:30
(16日～31日) 朝5:15
夕7:30

第6回公募 養徳社エッセイ賞

作品
募集中

募集テーマ

「あの日あの時の味」

募集要項

枚数 A4判400字詰原稿用紙8～10枚(3200～4000字)
締切 平成28年8月31日必着
発表 月刊誌『陽気』平成29年新年号
入賞 1等 正賞／トロフィー 副賞／10万円(1名)
佳作 正賞／トロフィー 副賞／3万円(2名)
送り先 ☎632-0016 奈良県天理局私書箱15号 養徳社エッセイ賞係
問合せ 養徳社 TEL:0743-62-4503 FAX:0743-63-8077

※詳細は月刊『陽気』6月号をご覧ください。

【陽気担当者変更届け】陽気お取扱者ご担当者様のご変更の際、弊社ホームページよりファイルをダウンロードいただき必要事項にご記入いただきファックス下さるか、メールでご連絡ください。折り返し担当者からご連絡させていただきます。

FAX…0743-63-8077 (24時間 年中無休) 郵送…〒632-0016 奈良県天理市川原城町388 養徳社 業務部

メール…youtokusha-eigyou@poem.ocn.ne.jp